



県連だより

第80号
平成28年12月7日
発行
神奈川県FD連盟



神奈川県FD連盟 創立50周年に向けて

副会長 名倉 豊

みなさんこんにちは！神奈川県FD連盟は来年いよいよ創立50周年を迎えます。本連盟は創立後諸先輩のご努力により成長しました。現在も皆様のご努力により力強く活動が続けられています。年間行事に数々の指導者研修会・交流パーティー等を取り入れているシステムが着実に効果を上げていると思います。

来年50周年は半世紀の大きな節目として、まず従来の行事は継続して行い、その他に、

- (1) 外国から講師を迎えての指導者研修会
- (2) 少し豪華で大勢の人が参加できる場所でのFD大会
- (3) 半世紀の節目として記録誌の編集制作

なお、来年、行事が多くならないように「温泉とFD」の行事は前倒しで今年度の11月にを行いました。(50周年行事はすでに始まっています。)

今年度の残りの行事は勿論のこと、50周年行事に皆さん誘い合い大勢参加して50周年を盛り上げましょう。またそれが神奈川県連の次期半世紀の発展につながると確信します。



ごあいさつ

副理事長 中村 英子

今年度、思いもよらなかった副理事長というお役をさせて頂くことになりました。どうぞよろしくお願い致します。約20年間横浜と夫の単身赴任地との行き来で腰を落ち着いたサークル活動が出来ないまま、リーダーや仲間を支えられて踊りだけを楽しんできました。その生活も終わりリーダーから県連理事交代の打診を受けました。熟慮の末すべての方々へのご恩返しのお気持ちもありお話しをお受けして、今いろいろ県連組織のことなど多くのことを勉強させて頂いています。

長い間、外からしか県連のことを見て来なかったので戸惑うことが多く、いろいろと失敗やご迷惑をおかけしていますが、諸先輩理事の方々に教えて頂きながら頑張っているつもりです。今回の副理事長のお話しも「晴天のへきれき」でしたが、東北・四国・九州の各地の方々と一緒に踊って来て今も交流がある事が少しは何かのお役にたつこともあるかな？と考えてお受けしました。

まだまだ副理事長の仕事を中心に理解、把握出来ていませんが、先輩副理事長にいろいろと教えて頂きながら頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。





未来に向けて

高齢者が現役

《多くの仲間と元気で踊れる喜びに感謝!!》



相談役 門松 茂雄

神奈川県フォークダンス連盟は、来年、創立50周年を迎えます。

設立以来、順調に発展を続けており大きな組織へと飛躍的な発展を成し遂げられました。大きな節目の創立50周年記念大会を、来年10月2日にパシフィコ横浜で開催が決定しています。

社会情勢の移り変わりにともない、女性だけのサークル、高齢者のサークルが多くなり、平均年齢が60歳代は若いといわれる時代になりました。現在、神奈川県フォークダンス連盟の加盟団体は72団体、ピーク時に86団体あった加盟団体が、最近5年間で14団体が離脱されました。さらに減少の傾向にあると考えます。

その理由はいろいろ考えられますが、サークルにおける環境が大きく変わってきています。会員の高齢化が進み、その流れを止めようもありません。会員の高齢化に伴い、身体の不調で止むを得ず退会、会員の減少によりサークルが衰退、等さまざな難しい課題があります。

今後、男性および若い人が増える可能性は低いと考えます。まずは会員の減少を防ぐ手段として、高齢者の退会を防ぐ工夫を指導者は考えなければなりません。

初心者講習会を計画しても、参加者が集まらない、講習会が終わった後、残る人が少ない。高齢者といっても、元気な人は、ちゃんと踊っています。あるいは、踊れている人は、みんな元気な人と言えます。元気な高齢者を上手に活用、いかに組織的に確保していくか、少なくとも減らさずに増やしていくかということを考えていく必要があります。

会員一人ひとりが人まかせにしないで、自覚を持って会員を増やす努力が必要と考えます。それには、過去の経験から「くちこみ」が一番効果があると思います。地域でフォークダンス教室等があったら、自ら仲間を誘って参加、踊ることの楽しさを体験してもらう。また、自身がフォークダンスを始めた動機を思い出して参考にするのも一考だと考えます。

フォークダンス界全体の問題として、高齢化が進み、このままでは将来が暗い。

50年を機に、なお一層の組織の充実と拡大を図るため、まずは愛好者を増やし、加盟団体を増やす活動を展開し、推進することを望みます。

フォークダンスは、踊りを覚える努力が必要です。生涯学習としてもフォークダンスは、最適であり、適度に脳を働かせ、体力に応じて体を動かします。健康で認知症の予防など、心身の健康に大きな役割を果たしています。

若い人を育てなければいけません。まずは、高齢者に頑張ってもらわなければならないと考えます。多くの仲間と元気で踊れる喜びに感謝!!





ワルシャワ経済大学 舞踊団公演を終えて

研修部部长 神田 あつ子

「美しいポーランドの大地」歌いながらの踊りで登場し始まった公演は、若さあふれるフレッシュな歌と踊りを次々に繰り広げて、約1,000人の神奈川のフォークダンサー達を魅了しました。聞き覚えのある曲も何曲もあり、グッとくつろいだ雰囲気の中にプログラムは進み、客席からの手拍子も実に実にタイミングが良く、ダンサーとの間で心が通じ合った様な一体感を感じたのは私だけだったのでしょうか？大いに盛り上がった楽しい公演となり、アンコールの拍手がいつまでも止まらずに続きました。神戸に続き神奈川県公演もお世話してくださった、ヤン・東保さんの優しい笑顔と共に私達の心に残る公演となりました。

日連創立60周年記念大会から帰って5日目の7月15日、ついに神奈川県連50周年の前年行事であるワルシャワ経済大学舞踊団公演の当日を迎えました。

天候はほどよい曇り空。早出のスタッフは、会場となる海老名市文化会館に9時に集合。ホール使用に関しての細かい手続きなどを行い、舞踊団を迎える準備にかかりました。

この度の公演の裏方として準備に当たる中で、最大の気掛かりは、やはり開場から開演までの時間でした。当初、この間が30分の予定だったため、自由席での着席が事故無くスムーズに行えるかどうか、関係者全員の心配するところでした。こちらは当日、会館スタッフと相談し、30分早く開場出来た事に加え、神奈川県フォークダンサーのマナーの良さが幸いし、たいへんスムーズに静かに入場着席を終える事が出来ました。とても心配していただけに、うれしい誤算となりました。

最終的に1,066枚ものチケットを販売して下さった理事の皆様、朝から各役割分担を果たして頂いたスタッフの皆様、駅からの案内に立って下さった海老名市FD協会の皆様、そしてマナーを守って参加して下さった皆様に、担当部として、心からお礼申し上げます。素晴らしい協力体制に、県連の底力を感じた次第です。

最後に、参加者全員で「赤いくつ」を斉唱した事は、舞踊団の若いダンサー達にとってもサプライズであり、嬉しい思い出となった事でしょう。





日本フォークダンス連盟 盛大に行われた創立60周年記念大会



総務部副部長 鈴木 郁子



「パンパカパ〜ン」ファンファーレが高鳴り、2016年7月8、9、10日の順列並びのこの良き日、記念大会は開幕しました。全国の支部旗が堂々の入場です。表彰者の皆さん、会場を見守る皆さん、もちろん大会の開催準備をしてきた役員の方々が頬をほんのりと染めながら拍手で出迎えています。ここ、ワールド記念ホールの空気は、一気に3日間の祭典の場と高揚しました。



式典が終わるとデモンストレーションの始まりです。17人でのメキシコのダンスは、持ってみるとずっしり重いはずの長いスカートが、まるで羽のようにくるくると宙を舞います。目にも止まらぬ早業で次々とフォーメーションを変えていきます。「素晴らしい！素晴らしい！」としか言葉が出てきませんでした。次は35人のポーランド経済大学の学生たちのダンスです。これもまた、うっとり和我を忘れ、しっとりとした音楽と仕草に、出るのはため息ばかりです。若いお人形のような美しい容姿に、同じ人類かしら？と馬鹿なことを思ってしまった。あつという間の夢のような時間でした。



連盟5部門の各種目を入りきれないくらいの大勢の参加者で楽しんで、明日の「ポロネーズ ウロチスティ」に思いを馳せながらホテルへの帰路につきました。



2日目、ワールド記念ホールのメイン会場は、「みんなで踊ろう」のパーティー・プログラムです。こんなに大勢の人がおどれるの？と思うくらいの人、人、人！…3,500人のダンサーで埋め尽くされました。パートの司会は連盟理事が担当されました。こんなに大勢の参加者にサークルを作ってもらっただけでも至難の業でしたが、そこはどれも大ベテラン、メニューをどんどん進めて、交流もしながらのダンスを楽しんでいました。



さて、いよいよ2,500人で踊る「ヤン・トウホのポロネーズ ウロチスティ」の時間です。参加者を800人位づつ、3回に分けて踊りました。音楽が鳴り始めた時の皆さんの自信にあふれた表情と言ったら…！その顔つきこそが、どんなに一生懸命練習してきてくださったかの証明でもありました。踊り終わって、初めてお会いする何人の方が「よかったあ、嬉しかったあ、幸せ〜、最高！」と走り寄りハグしてくださいました。こんなにモテたのは生れて初めてです。スタッフとして参加した私にとっても人生最高の日になりました。

また同時に、神戸市立中央体育館では、60周年記念の、著名な講師による講習会が開催されていました。デモンストレーションの時間帯はさすがに受講者が少なかったものの、こちらも多くの方に参加していただきました。CDと解説書は同時に発売されましたが、さてさてDVDの発売を心待ちにしているところです。

神戸国際会議場では、メキシコの舞踊団とポーランド経済大学の学生による公演が行われていました。相変わらず美しいメロディーと踊りのポーランドは、その躍動感に表現する言葉もなく、素晴らしいものでした。神奈川県ของ皆さんは海老名で真近に楽しむことが出来て本当によかったですね。そして圧巻はメキシコの公演でした。初めに踊られた統治以前の踊りは、見たことのない迫力のある踊りで、古い踊りなのに現代のまるで前衛的な踊りのように見える芸術的な演出でした。

60周年という節目を迎えた日本フォークダンス連盟。来年はそれを支えていく私たちの神奈川県支部の50周年です。愛すべきフォークダンスを一人ひとりが大切に思い、一人が一人に伝えていく取り組みを提案いたします。フォークダンスは永遠です。



創立60周年記念神戸大会で 個人・団体表彰を受けて

神奈川県フォークダンス連盟
副会長 内田 美智子

(公社)日本フォークダンス連盟が、神戸で60周年記念大会を開催しました。その折、神奈川県から個人6名と8団体が功労者表彰を受けられました。おめでとうございます。

ワールド記念ホールで、一人一人名前を読み上げられると、立って一礼する様子が大きなオーロラ・ビジョンに映し出されると、仲間が大きな拍手と声援を送っていました。今回長く地域で活躍している人も表彰の対象になり、推薦の枠が広がり荣誉に輝きました。これからも生涯、スポーツ社会での活動を継続していただき、更にご支援をしていただきたいと思います。

改めまして、おめでとうございます。

(公社)日本フォークダンス連盟 創立60周年記念大会 (要項表示順、敬称略)

表彰状・功労賞を受けられた方々

内 田 佐八郎	馬 場 貢 江	高 井 美津枝
川 口 知恵子	松 山 美智子	清 野 民 男

表彰状を受けられた団体

山 吹
サークルカオス
野比フォークダンスクラブ
横須賀フォークダンス連合会
横浜みどりフォークダンスクラブ
メリーメイト
ローズサークル
かまくらパレット



夏期フォークダンス指導者講習会に参加して

普及部理事 小池 美智子

今年度の「夏期指導者講習会」が8月28日(日)～29日(月)に箱根高原ホテルにて行われました。今年は、日連60周年記念大会が7月8日から10日にかけて神戸にて開催されたため、神奈川県主催の少し遅い指導者講習会でした。台風の影響もあり、心配されましたが、千葉県、神奈川県219名の参加者のもと開催されました。

メイン講師の綿貫浩一氏は、メキシコの「ラ・ヤゲシータ」「トロプナロ・オロ・ゴレモ」「シュタイエレク・フロム・ルヴーフ」「エリザベス・カドリール」「おお スザンナ」、そして宮澤千恵補助講師が「ロシアン・スイート」、千葉の渡辺美佐子補助講師が「ホループカ」、全7曲でした。それぞれの特徴ある指導のもと、楽しく受けることが出来ました。

1日目に7曲でしたので大変でしたが、もう少し曲に合わせて踊りたかったと思いました。2日目は、数曲の復習をしていただきましたが、台風の影響のため1時間早く終了になりました。その後食事をとり最後まで何事もなく、また役員の皆様のあたたかい心づかいのもと、最後まで全員で講習会に参加出来とてもうれしく思いました。御礼を申し上げます。ありがとうございました。



《つなげようダンスの輪》楽しく踊るための講座 初心者講習会

養成部部长 村上 克江



「初心者講習会」第1日目が、9月11日(日)、受講者38名、講師、役員、スタッフ15名の参加で行われました。フォークダンス歴1～3ヶ月から15年と、受講者の幅の広さに戸惑いながらの出発でした。初心者の講習だからこそ指導に携わる事の難しさと責任を感じ、講師陣もベテランにお願いしました。基礎ステップ担当の講師は事前に勉強会を行うなど、指導に向けて時間を作っていただきました。

1日目とあって受講者も最初は緊張している様子でしたが、真剣な中にも笑顔が見え、そのうち余裕さえ見えてきました。心配していたフォークダンス歴の差など全く感じる事なく、笑顔のまま1日目は終了しました。

「今日は楽しかったですか？」の質問に「楽しかった！」と答えが返ってきました。受講された方のうち、15名が昨年に引き続き参加してくださいました。この流れを大切にしていきたいと思えます。開講式で小鮎理事長の挨拶に「講習会でいろいろなことを学んでほしいと思えますが、たくさんの仲間作りもしてほしいと思えます」とありました。残り1回となった講習で「楽しかった！」を聞きたいと思うと同時に、たくさんの仲間を作ってほしいと思えます。



フォークダンスジャンボリー 栃木大会

事務局次長 平野 佳子

「第42回関東甲信静越フォークダンスジャンボリー栃木大会」が、9月24日(土)～25日(日)に行われました。絶え間なく日本列島にやってくる台風の間、曇り空の中24日の朝、神奈川県に参加者40数名を乗せたバスは「大江戸温泉物語 日光霧降」の会場に向かい横浜を出発。途中渋滞に巻き込まれて開始10分前に到着となってしまいました。栃木の方々の暖かい歓迎とおもてなしを受けてホッとリラックスし、今まであまり一緒した事の無い他県の人達とフォークダンスを踊るというワクワク感が沸きあがってきました。

メイン会場、他2会場を好きなようにめぐり、スナックコーナーで名産品を頂きながらのおしゃべりなど、ジャンボリーならではの楽しみです。新潟から参加のグループの方は1都10県を全て回ることを目標に来ておられて、私の名札を見て「来年は神奈川ですね。すぐに申し込みますからね。またお会いいたしましょう。」と嬉しいお声をかけて頂きました。1都10県は何処？東京、千葉、静岡、新潟、茨城、埼玉、長野、群馬、山梨、栃木、神奈川です。今回は、合計500余名の参加でした。25日の閉会式では、次期開催県、神奈川の並木会長が挨拶をされました。私達は、皆ピンクのお揃いのTシャツを着て前に並び「神奈川大会」への、大会旗の引継ぎが行われました。来年5月12日(金)～13日(土)熱海です。熱海に集合しましょう！

“えび～にゃ(海老名)”でハロー

普及部副部長 宮田多美子

広～い体育館に421名の晴れやかな笑顔が揃いました。爽やかな秋の日(10月19日)小鮎理事長の開会宣言で今年のハローフォークダンスフェスティバルが始まりました。式典では内野海老名市長のフォークダンスにまつわるユーモアたっぷりの御挨拶に大拍手。続いて同市のマスコット・キャラクター



“えび～にゃ”と一緒に踊り大いに盛り上がりました。4団体によるデモンストレーションは、日本、ベルギー、メキシコ、ポーランドとバラエティーに富み、いずれも素晴らしく100点満点でした。プログラムは参加者の笑顔を思い浮かべながら組んでみましたが、「バージニア・リール」では若さ(?)一杯に弾けていて良かったと思いました。

会場までの所要時間のこともあり参加を控えた人もいたようですが、開催時間を遅らせる等の対策を考える時期に来ているのかもしれない。また「ハロー」の趣旨を考える時参加者全員で同じプログラムを踊った方が、その楽しさを共有できるので1つの会場が良いのでは…。ともあれ最後まで踊った参加者の顔は満足感に溢れていました。

発行責任者：神奈川県フォークダンス連盟 理事長 小鮎 吉子
連盟ホームページ：<http://www.cityfujisawa.ne.jp/~fd.fed.k/>
E-mail：fd.fed.k@cityfujisawa.ne.jp

編集後記：皆さん四つ葉のクローバーの意味知っていますか？「愛情・希望・信頼・勇気」、この中の1つでも心に留めて日々生活出来るといいですね！今年は日連60周年大会で大いに盛り上がりました。来年はいよいよ県連50周年に突入です。忙しい中にも少しの余裕と沢山の笑顔で楽しい大会にしましょう！総務部も今年79号80号の「県連だより」を発行しました。皆さま協力ありがとうございました。来年も笑顔でお会いしましょう。
総務部編集委員一同